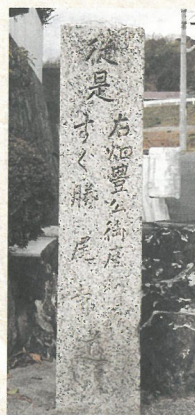


古道を訪ねて ③④

巡礼道 (勝尾寺・総持寺) ⑥



川合の集落を抜けると、巡礼街道は「府道茨木能勢線」と合流し拡張されます。東に向かい川合裏川にかかる「御殿場橋」を渡ると、茨木市に入ります。橋を渡り20mほど進むと左手に道標があります。正面に「従是 右畑豊公御座松旧跡・すぐ勝尾寺 道」左面に「昭和六年五月畑青年會建立」の銘があります。



▲道標

ここから北方に500mほど行くと丘の上に「畑神社」があります。今はなくなりましたが、昔はここには松の太木があり、豊臣秀

吉がその下で休憩したと伝承されていました。畑(集落の字名)の人々が、地域に伝わる旧跡を誇りに思う心と勝尾寺へ向かう巡礼への心配りが伝わります。

車道と一体となり旧道の面影をなくしてしまった巡礼道を南東に進み、ノーベル賞作家の川端康成氏の母校である豊川小学校を右手に見て、300mほど行くと、左手に「須久久神社」の鳥居が建っています。鳥居の下をくぐって200m、集落の背後の丘の上にある須久久神社(主神はスサノオノミコト)は、平安時代の延長5(927)年に編纂された延喜式に記される「式内社」で、千年以上の歴史があります。



▲鳥居



▲須久久神社

建物は近年建て替えられています。境内の巨木が歴史を感じさせてくれます。なお延喜式には「須久久神社二座」とありますが、もう一社は社名が変わっていますが、茨木市清水にある「春日神社」です。

巡礼街道に戻りさらに東に向かつて進んでいきます。

